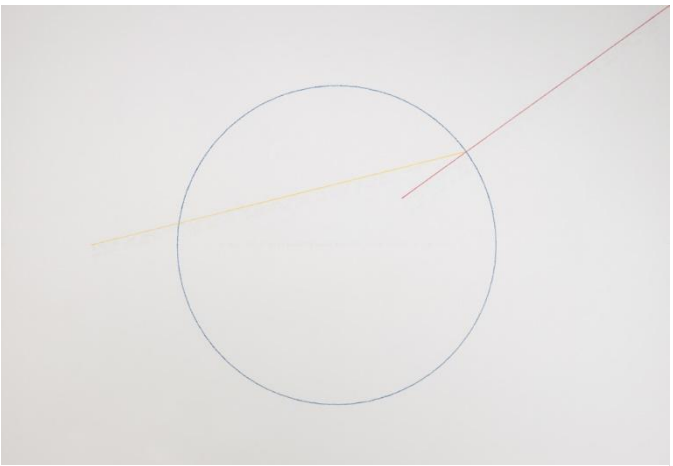
PRESS RELEASE　2025.10.01

ソル・ルウィット　オープン・ストラクチャー

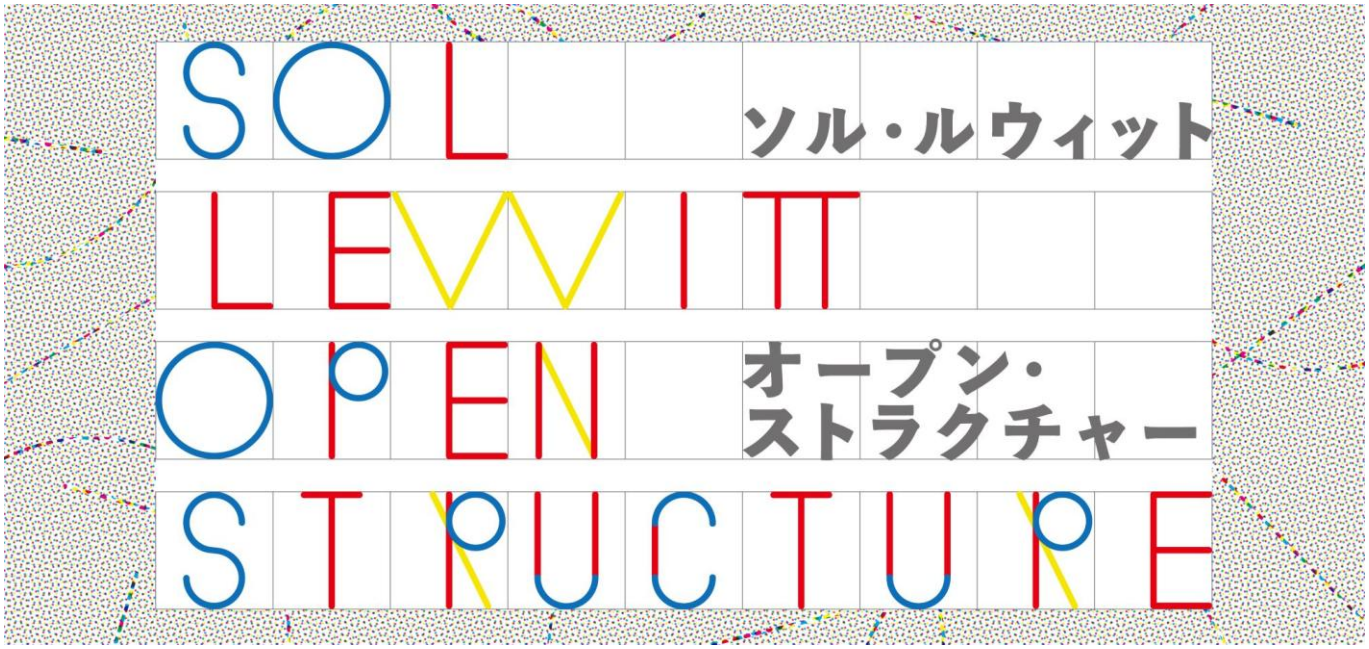
2025 年 12 月 25 日（木）— 2026 年 4 月 2 日（木）

東京都現代美術館では、20 世紀後半を代表するアーティスト、ソル・ルウィット（1928–2007）の日本の公立美術館における初の個展を開催します。

ソル・ルウィットは 1960 年代後半、目に見える作品そのものよりも、作品を支えるアイデアやそれが生み出されるプロセスを重視する試みによって、芸術のあり方を大きく転換しました。ルウィットの指示をもとに、ほかの人の手で壁に描かれるウォール・ドローイング、構造の連続的な変化を明らかにする立体作品など、その仕事は「芸術とは何でありうるか」という問いを投げかけています。本展では、ウォール・ドローイング、立体・平面作品、アーティスト・ブックといった代表作の数々を通して、既存の枠組みや仕組みに再考を促し、別の構造への可能性を開こうとしてきたルウィットの思考の軌跡をたどります。



01 ソル・ルウィット《ウォール・ドローイング #283　青色の円、赤色の直線、黄色の直線の位置》初回展示 1976 年
2017 年イェール大学美術館ウェストキャンパス・コレクションセンター（コネチカット州ウェストヘイブン）での展示
© 2025 The LeWitt Estate / Artists Rights Society (ARS), New York.
Courtesy Paula Cooper Gallery.



05　展覧会メイン・ビジュアル　デザイン：三上悠里

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班　工藤・内堀・永田・大塚
TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141
E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp　URL：https://www.mot-art-museum.jp
※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。

MOT MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO 東京都現代美術館

みどころ

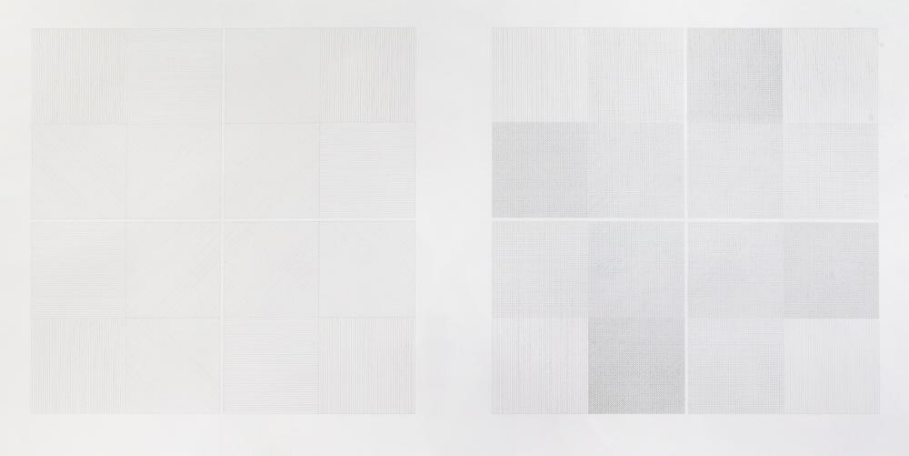
1．日本の公立美術館では初となるソル・ルウィットの個展

ルウィットは、1960 年代後半、作品の物質的な側面よりも、それを生み出すアイデアやプロセスを重視する芸術の動きに「**コンセプチュアル・アート**」という呼称を与え、その後の実践に多大な影響を与えました。本展は、**日本の公立美術館における初の個展**として、ウォール・ドローイング、立体・平面作品、アーティスト・ブックなど、その広範な仕事を検証します。

03　ソル・ルウィット《ストラクチャー（正方形として 1, 2, 3, 4, 5）》1978-80 年、滋賀県立美術館蔵
© 2025 The LeWitt Estate / Artists Rights Society (ARS), New York. Courtesy Paula Cooper Gallery.

2. 本展のために展示されるウォール・ドローイング

多くの場合、ルウィットの文章や図面による指示をもとに、アーティスト本人以外の手で描かれる**ウォール・ドローイング**は、1968 年に初めて発表されて以来、代表作として知られています。本展では、6 点のウォール・ドローイングを展示し、広々とした空間のなかでアーティストのアイデアを体感できます。



02　ソル・ルウィット《ウォール・ドローイング #1164　ドローイング・シリーズ I 2 (A & B)》構想 1969 年、初回展示 2005 年
2010 年グラッドストーン（ブリュッセル）での展示
© 2025 The LeWitt Estate / Artists Rights Society (ARS), New York. Courtesy Paula Cooper Gallery.

3. ルウィットが手がけたアーティスト・ブックを展示

ルウィットは自らのアイデアを多くの人と共有するために、1960 年代から晩年まで**アーティスト・ブック**を作品として制作し続けました。本展では、多数の**アーティスト・ブック**やその他の書籍を通して、アーティストの思考の軌跡をたどります。

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班　工藤・内堀・永田・大塚
TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141
E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp　URL：https://www.mot-art-museum.jp
※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。

MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO
東京都現代美術館

展覧会について

ソル・ルウィット（1928–2007）は、アイデアを主軸とする作品を通して、芸術とは何でありうるかという問いに向き合った、20 世紀後半を代表する米国出身のアーティストです。本展は、日本の公立美術館における初の個展として、ウォール・ドローイング、立体・平面作品、アーティスト・ブックなど、その広範な仕事を検証します。

1960 年代、芸術を個人の内面や感情の表現とする伝統的な考えに異を唱えたルウィットは、《ストラクチャー（正方形として 1, 2, 3, 4, 5)》（1978–80 年）のように、立方体を基本単位とするモジュールを組み合わせることで、構造の連続的かつ体系的な変化によって形態が規定される作品を発表しました。その芸術の根幹をなすのは、目に見える作品そのものではなく、作品を支えるアイデアや構造であり、それらを形態へと移し替えるための仕組みやプロセスに主眼が置かれます。こうした原則を表すのが、「コンセプチュアル・アートについてのパラグラフ」（1967 年）に書かれた「アーティストがコンセプトから生まれる芸術のあり方を選択する場合、すべての計画や決定は事前に行われ、実際の作業は形だけのものとなる。アイデアは芸術を生み出す機械となる」という一節です。1968 年に初めて発表されたウォール・ドローイングは、代表的な仕事のひとつであり、全体で 1,300 点を超えます。そのほとんどは、ルウィット自身の文章や図面による指示をもとに、ほかの人の手で壁に描かれ、展覧会では会期が終わると塗りつぶされました。こうした手法やプロセスは、作者性や唯一性、物質的な永続性といった芸術をめぐる前提に再考を促すものです。さらに 1980 年代以降、作品にはそれまでに見られなかった複雑な形態や豊かな色彩が現れるようになりました。それは、事前に定められた簡潔な指示や計画に基づくという点で同じ原則の延長上にあり、その射程を拡げる試みであったといえるでしょう。

本展が照らし出そうと試みるのは、ルウィットの芸術に通底する「構造を開く思考」です。たとえば、立方体を用いた作品の多くは、外側の各面を削ぎ落とし、骨組みとなる辺を際立たせることで、形態を支える構造を明らかにします。《不完全な開かれた立方体》（1974 年）のように、辺の一部を欠いた作品は、連続写真の一コマのように、漸次的な移行の渦中にある構造のダイナミクスを浮かび上がらせ、完全性や不変性を解体します。あるいはウォール・ドローイングにおいて、設置される環境や空間、ドローイングの従事者といった条件に応じ、与えられる形態に変化の余地が残されていることは注目すべきでしょう。アイデアを形態へと置き換えるプロセスにおいて、アーティストによる指示をどれほど厳に正しく実行したとしても、不確定性や他者による一定の解釈の介入は避けがたく、作品はそれを受け入れています。アイデアを特定の個人の所有物とせず、受け取ったすべての人と分かち合おうとする姿勢は、「アイデアは所有できない。それを理解しうる人のものだ」という発言にも表れています。また、自らのアイデアを広く媒介する手段として多数のアーティスト・ブックを制作したルウィットは、1976 年、批評家のルーシー・リパードらとともにニューヨークで「プリンテッド・マター」を立ち上げ、既存の美術市場に依存しないアーティスト・ブックの流通を促しました。

1960 年代後半以降、作品が単なる鑑賞の対象にとどまらず、思考の場として見直されていくなかで、ルウィットの作品が果たした役割は大きく、とりわけプロセスや指示に基づく実践にとって、いまに至るまで指針のひとつであり続けてきました。既存の構造や仕組みを絶えず組み立て直し、そこに創造的な隙間を生み出そうとしてきたその芸術は、私たちがどのように世界を捉え、関与しうるかに向き合うための起点となり、別の視点や枠組みへの可能性を開くでしょう。

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班　工藤・内堀・永田・大塚
TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141
E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp　URL：https://www.mot-art-museum.jp
※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。

MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO
東京都現代美術館

ソル・ルウィット

04　《ウォール・ドローイング #66》を制作中のソル・ルウィット
（グッゲンハイム美術館、ニューヨーク、1971 年）
© 2025 The LeWitt Estate / Artists Rights Society (ARS), New York. Courtesy Paula Cooper Gallery.

1928 年	米国コネチカット州ハートフォード生まれ
1945 年	シラキュース大学に入学し、絵画と版画を学ぶ（1949 年卒業 BFA）
1951 年	選抜徴兵制により米国陸軍に所属し、朝鮮戦争期にカリフォルニア、日本、韓国に派遣される
1953 年	除隊後、ニューヨークに拠点を移す
1954–55 年	商業雑誌の製版の仕事を経て、I・M・ペイの建築事務所でグラフィック・デザインの仕事につく
1960 年	ニューヨーク近代美術館で書店員や夜間受付係として働く傍ら、絵画を制作
1965 年	初個展（ジョン・ダニエルズ・ギャラリー、ニューヨーク）
1966 年	「Primary Structures」（ユダヤ美術館、ニューヨーク）
1967 年	「コンセプチュアル・アートについてのパラグラフ」を『アートフォーラム』夏号に発表
1968 年	「Art of the Real」（ニューヨーク近代美術館） 「ベトナム戦争終結のための学生動員委員会への支援展」（ポーラ・クーパー・ギャラリー、ニューヨーク）にて、ウォール・ドローイングの一作目を発表
1969 年	「Live In Your Head: When Attitudes Become Form」（ベルン美術館）
1970 年	「第 10 回日本国際美術展　人間と物質」（東京都美術館）参加のため来日 「Information」（ニューヨーク近代美術館）
1976 年	ニューヨークのソーホーにルーシー・リパードらと「プリンテッド・マター」を共同設立
1978 年	初回顧展（ニューヨーク近代美術館）
1980 年	イタリアのスポレートに拠点を移す
1984 年	個展（アムステルダム市立美術館）
1986 年	コネチカット州チェスターに拠点を移す
1990 年	個展（東高現代美術館、東京）
1994 年	個展（ハーグ市立美術館／オックスフォード近代美術館／ポンピドゥー・センター、パリほか）
1996 年	「レボリューション／美術の 60 年代　ウォーホルからボイスまで」（東京都現代美術館）
2000 年	回顧展（サンフランシスコ近代美術館／シカゴ現代美術館／ホイットニー美術館、ニューヨーク）
2007 年	ニューヨークで死去（享年 78 歳）

※400 字程度の略歴も提供可能です。詳細はお問合せください。

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班　工藤・内堀・永田・大塚
TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141
E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp　URL：https://www.mot-art-museum.jp
※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。

MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO
東京都現代美術館

基本情報

展覧会名　ソル・ルウィット　オープン・ストラクチャー
主　　催　東京都現代美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）
協　　力　The Estate of Sol LeWitt
会　　期　2025 年 12 月 25 日（木）～ 2026 年 4 月 2 日（木）
開館時間　10:00 ～ 18:00（展示室入場は閉館の 30 分前まで）
休 館 日　月曜日（1 月 12 日、2 月 23 日は開館）、12 月 28 日～1 月 1 日、1 月 13 日、2 月 24 日
会　　場　東京都現代美術館 企画展示室　1Ｆ
観 覧 料　一般 1,600 円／大学生・専門学校生・65 歳以上 1,100 円／中高生 640 円／小学生以下無料
問 合 せ　03-5245-4111（代表）
Ｗ Ｅ Ｂ　https://www.mot-art-museum.jp/exhibitions/LeWitt/
企　　画　楠本 愛（東京都現代美術館 学芸員）

関連プログラム　会期中にギャラリートーク、手話通訳つきのプログラムなどの開催を予定しています。
参加方法・詳細は、展覧会ウェブサイトで順次公開いたします。

展覧会カタログ　2026 年 3 月刊行予定

同時期開催の展覧会　12 月 25 日（木）～ 2026 年 3 月 29 日（日）
「Tokyo Contemporary Art Award 2024-2026 受賞記念展」
2026 年 1 月 31 日（土）～ 5 月 6 日（水・振休）「ミッション∞インフィニティ」

広報図版の貸出について

広報用図版として 5 点をご用意しております。貸出をご希望の方は、下記の貸出条件をご確認の上、必要事項とあわせて図版番号をメール（mot-pr@mot-art.jp）にてご連絡ください。画像の利用は、展覧会の広報を目的とする新聞・雑誌その他のメディア（デジタルメディアを含む）の記事内の使用に限ります。

必要事項　御社名 ／ ご担当者名 ／ 貴媒体名（ジャンル）／ 発売・放送予定日

貸出条件
- 画像には下記の**作品情報（作家名・作品名・制作年・所蔵・コピーライト等）**を併記してください。
- 画像の**トリミング、文字載せ、編集等の改変はご遠慮ください。**
- 記事の**掲載前**に校正原稿をお送りください。記事の掲載後に掲載誌(紙)、URL、DVD 等をお送りください。
- 画像データの二次使用はお断りしております。使用後はかならずデータを削除してください。

01　ソル・ルウィット《ウォール・ドローイング #283　青色の円、赤色の直線、黄色の直線の位置》初回展示 1976 年
2017 年イェール大学美術館ウェストキャンパス・コレクションセンター（コネチカット州ウェストヘイブン）での展示
© 2025 The LeWitt Estate / Artists Rights Society (ARS), New York. Courtesy Paula Cooper Gallery.

02　ソル・ルウィット《ウォール・ドローイング #1164　ドローイング・シリーズ I 2 (A & B)》構想 1969 年、初回展示 2005 年
2010 年グラッドストーン（ブリュッセル）での展示
© 2025 The LeWitt Estate / Artists Rights Society (ARS), New York. Courtesy Paula Cooper Gallery.

03　ソル・ルウィット《ストラクチャー（正方形として 1, 2, 3, 4, 5)》1978-80 年、滋賀県立美術館蔵
© 2025 The LeWitt Estate / Artists Rights Society (ARS), New York. Courtesy Paula Cooper Gallery.

04　《ウォール・ドローイング #66》を制作中のソル・ルウィット（グッゲンハイム美術館、ニューヨーク、1971 年）
© 2025 The LeWitt Estate / Artists Rights Society (ARS), New York. Courtesy Paula Cooper Gallery.

05　展覧会メイン・ビジュアル　デザイン：三上悠里

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班　工藤・内堀・永田・大塚
TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141
E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp　URL：https://www.mot-art-museum.jp
※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。

MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO
東京都現代美術館